

とうろうに思いや願いを込めて

8月16日、行田市駅北側の忍川周辺で、とうろう流し納涼大会が開催されました。

今年で63回目を迎えるこの催しは、亡くなった方への思いや平和への願いをとうろうに乗せて流すもので、行田の夏の風物詩となっています。訪れた人たちは、ゆらゆらと静かに水面を漂うとうろうの明かりをいつまでも見ていました。



心くすぐる市内施設めぐり

8月12日、市内の小学生を対象に市内施設めぐりが行われました。

今年の施設めぐりは、市長室での記念撮影や忍城おもてなし甲冑隊との触れ合い、そして今年の4月にオープンしたばかりの県立総合教育センター内にある日本科学未来館や3D施設での体験学習など、どれも児童らの心をくすぐるもの。各施設で思う存分楽しんで児童と保護者らは、充実した表情で一日を過ごしていました。



ちゃんと育っているかな

7月16日、昨年古代蓮の里北側駐車場周辺で植樹したシラカシやヤブツバキなどの成育の確認と除草を目的に、「いのちを守る森づくり」第3回育樹祭が行われました。

苗木の成長を楽しみにしていた66人の参加者は、真っ先に自分の植えた場所に向かい、腰ぐらゐまで成長した苗木に再会。10年後には立派な木になっていることを願い、除草作業をしていました。



一日消防士体験に胸がワクワク

8月5日、消防本部などで「夏休み一日消防士体験」が行われました。

今回で18回目を迎えるこの催しに、市内の小学4年生から6年生までの児童61人が参加。消防職員からポンプ車や化学車などさまざまな種類の消防車の機能説明を受けた後、実際にレスキュー訓練や放水訓練などを体験。普段なかなかできない経験とあって、児童らは好奇心で目をキラキラさせながら、どの訓練にも積極的に臨んでいました。

